

伊勢市地域自立支援協議会 活動報告（平成25年度）

【課題別検討チーム 「せいかつ」チーム】

<p>地域の 実情 ニーズ</p>	<p>①「生活介護事業」: ・特別支援学校卒業生等の利用希望者が事業所の不足のため、市外の事業所を利用している等の現状があり、必要としているサービスを身近で受け難い現状があるのではないかと検討が行われました。</p> <p>②「本人中心支援」: 研修等を受ける機会について、ご本人やご家族は特に少なく、また支援者にもバラつきがある状況であり、必要な研修を受けられるように提供することが、今後の様々な取り組みにとって必要であるのではないかと検討されました。</p> <p>③「意見交換会」: ・地域の現状を踏まえた検討を行っていくために、障害福祉サービス等(していますかチームより依頼のあった卒業後の進路(生活介護)も含め)について、直接意見交換をさせて頂くための機会を開催する必要があるのではないかと検討されました。</p> <p>④「障害者計画・障害福祉計画」: 行政において障害福祉計画、障害者保健福祉計画(今後の伊勢市における障害福祉施策やサービスについての計画)の見直しが予定されている状況であるため、意見検討を行ってきました。</p>
<p>チーム での 検討提 案 内容</p>	<p>①「生活介護事業」: ・市内での事業所増加に向けた具体的な検討を行っていくことを見据えて、本当に必要なことは何か、どのような話し合いの形態が必要かなどの検討を進めています。</p> <p>②「本人中心支援」: ・まずは、障がいをお持ちのご本人を中心とした支援という根本ではあるが、日々の中で常に振り返り続けなければいけないテーマについて、「本人中心支援」とは何なのか？みなが共通理解を深めるための研修会を、障がいをお持ちの当事者を講師に招き、まずは支援者向けに開催させて頂きました。</p> <p>③「意見交換会」: ・「伊勢市で自立して地域で生活をしていく」というメインテーマのもとに、生活全般にかかわる大きな意味での意見交換会を開催していくために検討を行ってきました。</p> <p>④「障害者計画・障害福祉計画」: ・障害福祉サービス種別ごとの目標設定等が行われる際に、地域の本当に必要としている方々の声をしっかり把握する必要があることや、日常から必要とする方々の声を集約していける取り組みの必要性、気持ちの部分の聞き取りや評価の重要性等の意見を話し合ってきました。</p>
<p>今後 につい て</p>	<p>①「生活介護事業」: ・市内での事業所増加に向け、意見集約等を行いながら具体的な検討を継続して行い、提案をあげていく予定です。また、その検討をどのような形で継続していくかについても話し合っていく予定です。</p> <p>②「本人中心支援」: ・今回の研修会の状況を踏まえ、今後の必要な取り組みを検討していく予定です。</p> <p>③「意見交換会」: ・具体的な意見交換会の在り方の検討を進めていく予定です。</p> <p>④「障害者計画・障害福祉計画」: ・計画策定の経過の中で、随時現場に即した必要な意見を上部会議(本会)に挙げていく役割を担っていく予定です。</p> <p>⑤「検討テーマ」: ・上記も含め幅広い検討項目がある中で、せいかつチームにおいて今後どのようなテーマの検討を深めていくか、あるいはどのようにすれば必要な検討を深め取り組みを進めていけるかについても、話し合っていく予定です。</p>